



特別養護老人ホーム 本陣園(マネジメント研修1期生)
独自の発展を遂げたノーリフティングケア体制
~体制づくりや職員教育のヒント~



令和7年11月12日

生活相談員兼介護支援専門員 川端俊祐



社会福祉法人
内野会

特別養護老人ホーム

本陣園



施設概要

特養 50床 短期入所生活介護 10床
全室個室
ユニットケア(1ユニット10名)
職員数 54名

福岡県ノーリフティングケア普及
促進事業へ、令和2年より参加
しています。(1期生)

5年間を振り返って

- ・マネジメント研修で培った経験・知識・技術をもとに、本陣園の実状に適した腰痛予防委員会の体制づくりを進めました。
- ・体制が整い、ノーリフティングケアが施設全体へ定着するには、年単位の時間と、ゆっくりでも歩みを止めない根気が必要でした。

令和2年度



令和7年度



労働環境・腰痛発生率の改善に向けて確実に前進！
令和5～6年には筑豊地域のリーダー施設を務めさせていただきました。

腰痛予防委員会

(固定メンバー)

施設長

生活相談員兼ケアマネ

機能訓練指導員

看護職員

(毎年交代)

介護職員

×6名



開催日:毎月第2水曜 14時30分~

主な活動内容:収集したリスクに対する解決策の立案
現在進めている取り組みの進捗状況の確認や修正

毎年交代することで、1年間の活動を通じてノーリフティングケアのマネジメント技術を身に着けてもらうことを狙う

委員会によるリスクマネジメント

●毎月の委員会で現場からのリスクを集約し、課題解決に向けてコツコツと実践を継続中。

●なかなか解決に至らない課題もあるが、見直しを繰り返し、少しでも腰痛リスクを軽減できるケア方法を模索中…

1	高様・林田様	立位保持の時間が短く、事故に繋がる危険がある為、スカイリフトを使用してみる。	【確認中】 →10/18 お試しである事を説明し、本人様の了承を得て、ベットから車椅子への移乗時に使用。使用後はあまり納得されない様子であったが、無理なく使用出来ました。 【報告】 →9月はリフトを使う機会がなく未実施 10月に本人へ見てもらってから使用してみる ⇒10月もリフトを使用出来ず、11月ご利用時お試し予定 ⇒11月 試みており使用はできましたが、本人が恐怖感等あり継続的な使用は疑問あり 8~9月のSS利用時に試み、結果を報告	森
1	西田様	自宅では、娘様が歩行介助をされていたが、園ご利用時には、拘縮や職員が慣れていない事もありトイレ誘導時や入浴介助時には、抱え上げが生じている。	7/29からのご利用前にコロナ感染され、機能低下している事もあり、御家族よりリフト使用の許可が出る。 →7/29HUGリフトとささえ手を試すが、機能があっておらず、7/30スカイリフトを試し、本人様ご無理の無いようで入浴にも使用可能であった。トイや入浴介助はスカイリフト使用中。 →ベット・車椅子間の移乗介助等は、ボードを使用していたが、モジュール型の車椅子を、新たに入所された利用者様が使用されるようになり、現在ボード使用できず抱えている。(8/14)	森
2	丸幸子様	介助時、身体の痛みや恐怖心あり。現状、リリ + フレックスボードで対応中	現在、食欲不振あり。受診結果と体調をみて対応を協議 中村達平さんの意見等も得ながら	藤中
2	スタッフ	スライディングボード使用時、サイドレールを外すか外さないかで職員によってはらつきあり。(草野さんより)	・サイドレールへの接触や、職員の介助スペースの確保のため、スライディングボード使用時は取り外して行う方向で統一する。 (ベッドから離床した時にサイドレールをはずして、ベッドへ臥床したときに差し込むかたちになる) ・Rバーに開口しては最大まで折り曲げ、介助スペースを広くとる ・スライディングボードはベッド端坐位が安定する方が対象ということもしっかり周知。	1月中 小田
2	鈴正子様	オムツ交換のためのベッド令車いすの移乗 福祉用具受け入れがない 頻度が多い		森田

毎月の委員会では、各ユニットから挙がってくるリスクを集約し、優先度の高いものから対策を協議します。各委員には対策の周知～実践まで行ってもらうことで、自主性や応用力の成長も期待。

腰痛予防委員会でのリスク解決のイメージ

腰痛リスク管理シート



実践

委員会の議事録
や実施計画書など
で記録

腰痛予防委員会

委員会によるリスクマネジメント



決定したケア方法を現場で実践。
必要に応じて手順書を作成することも

250309 [REDACTED]様 スカイリフトでの移乗について

生活相談員業 [REDACTED]川原

- ・背中のベルトは腰で合わせるとちょうど良いようです。
- ・本人様にはできるだけ背中側にもたれてもらうよう声掛け。
- ・痛みやきついところなどないかお尋ねしてください。



※ベッドからスカイリフトを使う場合は、ひとりで搬送位がとれるようレバーを握んでもらい、背中にクッションで支えをつくるなど工夫が必要

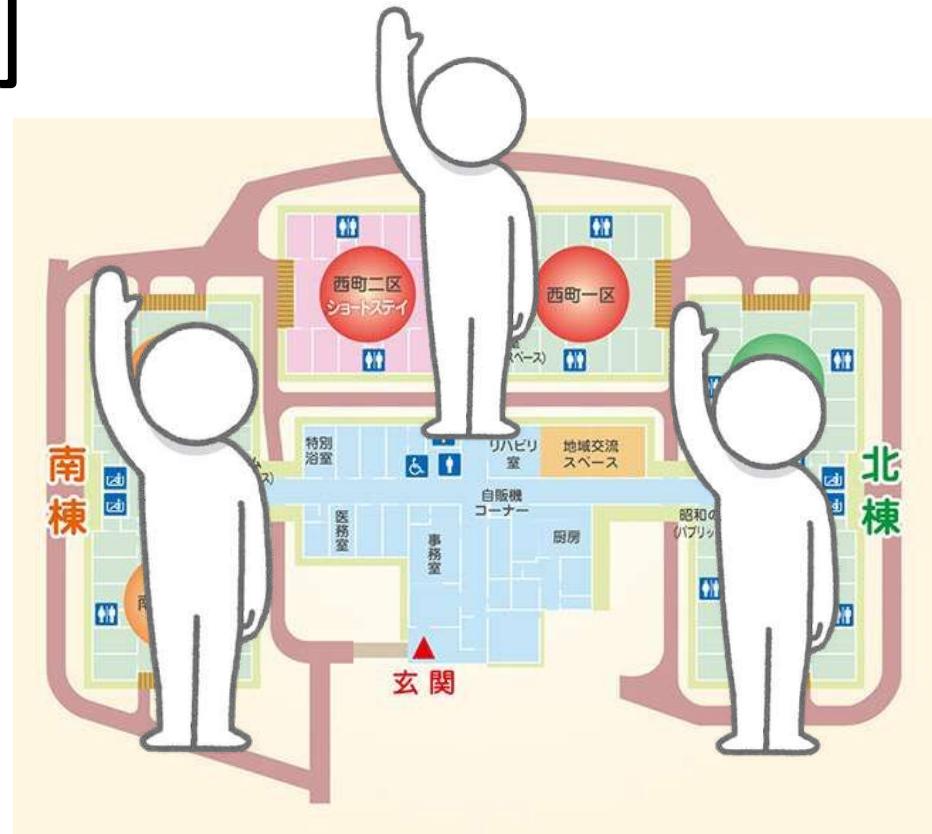
・ティルト型リクには、タイヤと当たって上手く入りませんので、片側をタイヤの外に出て若干ナナメに使用します。

本陣園独自の委員会運営・リスクマネジメント ポイント

- ・現場のスタッフに委員会運営へ積極的に参加してもらうことで、**組織全体の成長**を加速
- ・リスク収集～課題解決を少しずつでも進めることで、**職場の労働安全衛生**を向上
- ・委員会の開催日時や大まかな議題は固定することで、メンバーも出席しやすさ、委員会に向けた準備のしやすさなどに配慮

本陣園での教育体制

- 各棟に1名ずつ 指導者候補を選出。
- 実施日は毎月第3水曜日 16時～17時で固定。
- 指導者候補には早出勤務(7～16時)で出勤してもらい、研修時間を超過勤務とする。各ユニットリーダーにも協力を仰ぎ、勤務表もこれに合わせて作成してもらう。
- 毎月の委員会にて、現場職員への教育の進捗を確認



指導者候補は毎年交代する



現場に技術を教えられる職員が複数いる体制へ！

指導者育成 実践内容(令和6年度)

4月 ノーリフティングケアの必要性と目的の理解

専門職としての意識・態度

5月 コロナ発生のため中止

6月 身体の使い方

7月 コロナ発生のため中止

8月 スライディングボード

9月 電動リフト

10月 スライディングボード

11月 抱えない寝返り介助方法

スライディングシートを用いた寝返り介助

12月 スライディングボード、シートを用いた寝返り介助



令和6年度 指導者候補



指導者育成の様子 必要性と目的の理解 (令和7年度)



指導者育成の様子 スライディングシート



指導者育成の様子 座り直し



新人職員への教育



オリエンテーション時に
施設長より、本陣園の
ノーリフティングケアの
概要を説明

ノーリフティングケア 新人教育マニュアル

本陣園では『ノーリフティングケア』を推進しています。

1. ノーリフティングケアとは

介護される様にする側の双方において安全で安心な、「抱え上げない」「持ち上げない」「引きずらないケア」をノーリフティングケアと呼びます。

身体の間違った使い方をなくし、対象者の状態に合わせて福祉用具を有効に活用し取り組んでいきます。不良姿勢で行われる作業など、職員の身体に負担のかかる作業すべてにおいて見直しを図っています。

2. 腰痛を予防する「身体の使い方

正ディメカニクスを最大限に活用した介助を基本とします。

支持基底面を広くとり、自分の重心を低くし、対象者と自分の重心を近づけることで、余分な力が必要ない安定した介助が行えます。



ノーリフティングケアを本陣園の事業計画に位置づけ
施設をあげた継続的な取り組みとして実践中

指導者候補より新人職員への教育

新人教育の進捗も委員会で管理し、確実に伝達できるようにしています。



学んだことをアウトプットする機会を設けることで、習得した技術をより強固なものへ

本陣園独自の職員教育 ポイント

- ・教育指導者候補を1年かけて教育することで、抱えない介護技術を身に着けた職員を多数育成
- ・勤務時間外ではあるが実施日時を固定し、毎月確実に指導者育成を実施
- ・オリエンテーション時やOJTでノーリフティングケアの新人教育を確実に実施。指導者のトレーニングも兼ねる

福祉用具管理

◎今年度、これまで不十分であった車いすの清掃・メンテナンスを実施できるよう体制を整えた
⇒定期的に実施し、進捗を委員会で管理できる体制へ

令和7年度は床走行式電動リフトの追加導入

◎本陣園の所有する電動リフトは3台へ
⇒すべての棟に一台ずつある体制が整った



オプションとして**歩行支援用**
の手すりとハーネスも購入
⇒リハでの活用が可能に

床走行式電動リフトの活用

◎九州老人福祉施設職員研究大会(鹿児島大会 9月25、26日)にて研究発表を目指す

動画

九州老人福祉施設職員研究大会

「歩ける暮らしをもう一度取り戻したい！～歩行訓練機能付きリフトを用いた機能訓練の成果と課題」



研修参加：抱えない介護技術研修会(令和6年6月19日)

同じ筑豊地域のベテラン指導者の皆さまより、詳しく学ばせていただき、他施設の方々より学ぶ貴重な機会となった。



会場に本陣園を使っていただけたことで
多くの職員が参加！

第2回 ノーリフティングケア フォーラム(11月6日)

本陣園の指導者3名が技術指導者として 福祉用具ケア方法を実演。
また、一般来場者として新人職員も2名参加。

法人の系列施設のシルバーケア嘉穂からも、
副拠点長とりハ主任が参加！

